

# 地域運営組織の現場から ～農村RMOの有効性や使い方～

岡山県

農村RMOを支える中間支援組織

(みんなの集落研究所)

事例を見る



令和5年 2月17日(金)

特定非営利活動法人みんなの集落研究所  
首席研究員 阿部 典子

お世話になります。

阿部典子と申します。

NPO法人みんなの集落研究所首席研究員

山口大学社会学修士課程修了の後、造園・設計・まちづくりのコンサルタントで修行したのち、「NPO業界」入りしてから、17年。

岡山県内のまちづくりを支援するNPO法人に在籍し、防災、街並み保存、ユニバーサルデザインのみちづくりや、地域の宝と得意を活かす体験プログラムの仕組みづくりなどを行ってきました。岡山県中山間地域協働支援センターのマネジャー・コーディネーターを経て、平成25年4月にみんなの集落研究所を設立しました。

技術士「都市及び地方計画」

二級建築士

一級造園施工管理技士

福祉住環境コーディネーター2級



執行役員



代表執行役

石原 達也

岡山県内/中国四国/全国  
NPO法人岡山NPOセンター代表理事  
一般社団法人全国コミュニティ財団協会理事  
認定NPO法人日本NPOセンター理事  
一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク理事  
一般社団法人全国レガシーギフト協会理事

制度設計  
ソリューション開発

執行役兼  
首席研究員



阿部 典子

岡山県内  
地域主体形成  
支援者支援  
仕組み構築  
空き家・地域防災・生活支援  
人材育成・地域農業 等



高山 和成

総社市  
新執行役  
学塾  
地域教育活動



日置 幸

笠岡市飛鳥  
新執行役  
集落支援員  
若者の地域参画



沖村 舞子

浅口市/県南西  
元地域おこし協力隊  
地域コーディネーター  
空き家 生活支援  
助け合い交通



水柿 大地

美作市上山  
元地域おこし協力隊  
棚田再生  
孫プロジェクト  
生活支援  
助け合い 移動



梅谷 真慈

美作市上山  
元地域おこし協力隊  
棚田再生  
獣害・皮クラフト  
エネルギー・農泊  
継業



藤井 裕也

岡山県内/全国  
元地域おこし協力隊  
山村エンタープライズ  
みんなてつくる財団  
おかやま  
地域おこし協力隊支援

県南事務所

研究員

小野 賢也



地域・行政・支援者の皆さんとのつながりを大切に、  
頑張ります！

研究員

三村 雅彦



皆さまとの出会いに感謝して、万里一空の心で  
頑張ります！

県北事務所

調査員



諏訪 岳憲

六十、七十は鼻たれ小僧、  
のようです。  
これからも精進します。

調査員



矢萩 佑太

地域のみなさんとの  
出会いを大切に  
頑張ります

調査員



永田 愛

皆さまにお会いできる  
ことを楽しみに、いつも  
笑顔で頑張ります！

調査員



岸部 麻由

地域のみなさんとの  
出会いを大切に日々  
成長していけるよう  
に頑張ります

事務員



下山田 桂

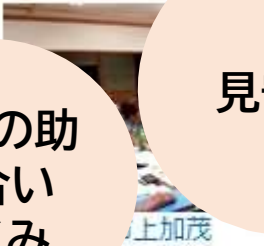
非力ながら、皆さんの  
輪の下の力持ちとな  
れるよう頑張ります。



みんなの  
集落



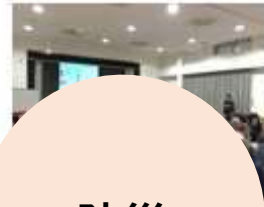
地域の助け合い  
しくみ



見守り



地域主体の  
計画づくり  
ビジョン共有



防災



地域に  
買い物を！



通院などの  
移動



人が育てら  
れる地域に

子ども・高校生  
大人も



つどいの場  
から



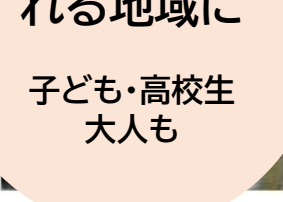
家庭市別所



アンケート  
からの地域  
づくり



多世代  
参加の  
地域づくり



運営体制の  
見直しを



瀬戸内市豊原



空き家  
×居場所  
×移住受入

地域

地域の  
支事  
支え合いと  
生きがい

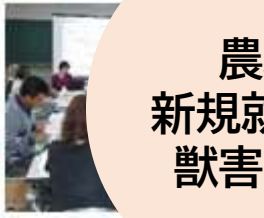


農地  
新規就農者  
獣害対策



美咲

地域のあり  
方を  
話し合う



美作市



倉村大茅



久米南町松



久米南町下弓削

などなど♪

美作市上山

# 美咲町の概要



★平成17年3月22日、中央町・旭町・柵原町の合併で誕生。

★岡山県のほぼ中央部に位置し、東部には岡山県三大河川の吉井川が、西部には旭川が流れ、町の大半を山間地が続く豊かな自然を有する中山間地域の町です。

★総面積 232.15 km<sup>2</sup>

★人口 13,397 人 (令和3年11月末現在)

★自治会数 81 自治会

★まちづくり協議会数 13 協議会



1, 柵原ふれあい鉱山公園



2, 本山寺



3, エイコスタジアム



4, 大枳和の棚田



5, 三休公園



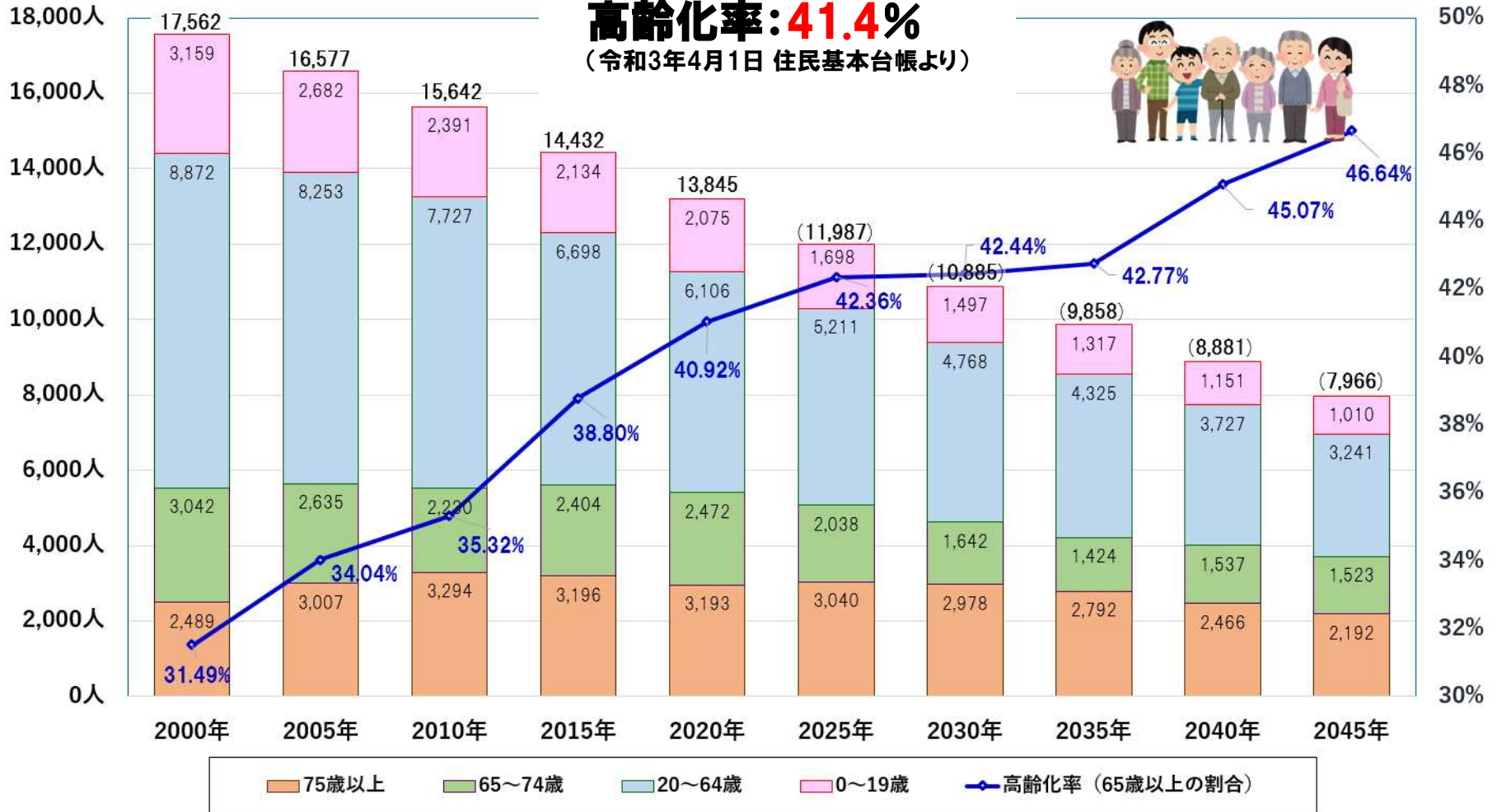
6, 食堂かめっち。

# 人口 & 高齢化率の推移

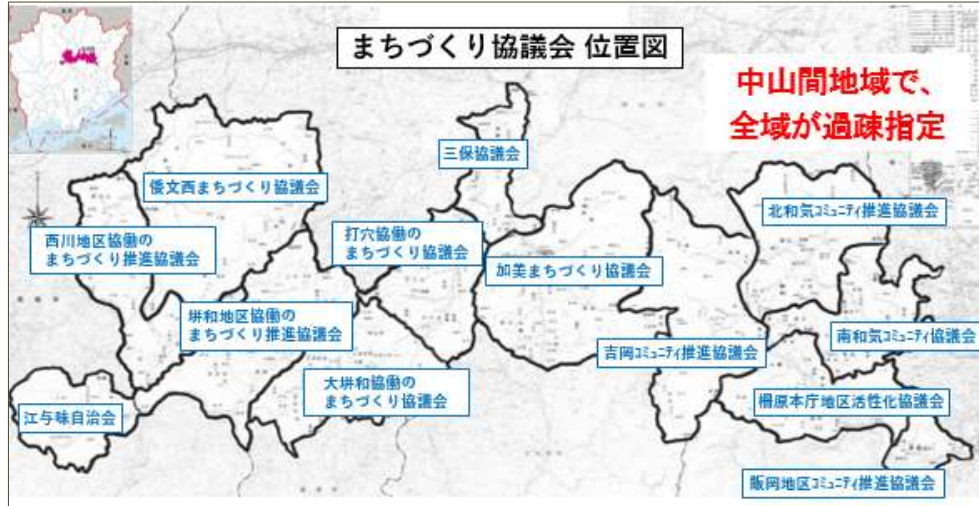
(2025年以降は推計)

人口: 13,558人  
高齢化率: 41.4%

(令和3年4月1日 住民基本台帳より)



# まちづくり協議会の概要



H21年度に町内全域で  
13地区(旧村、旧小学校区)で  
協議会として組織化される。

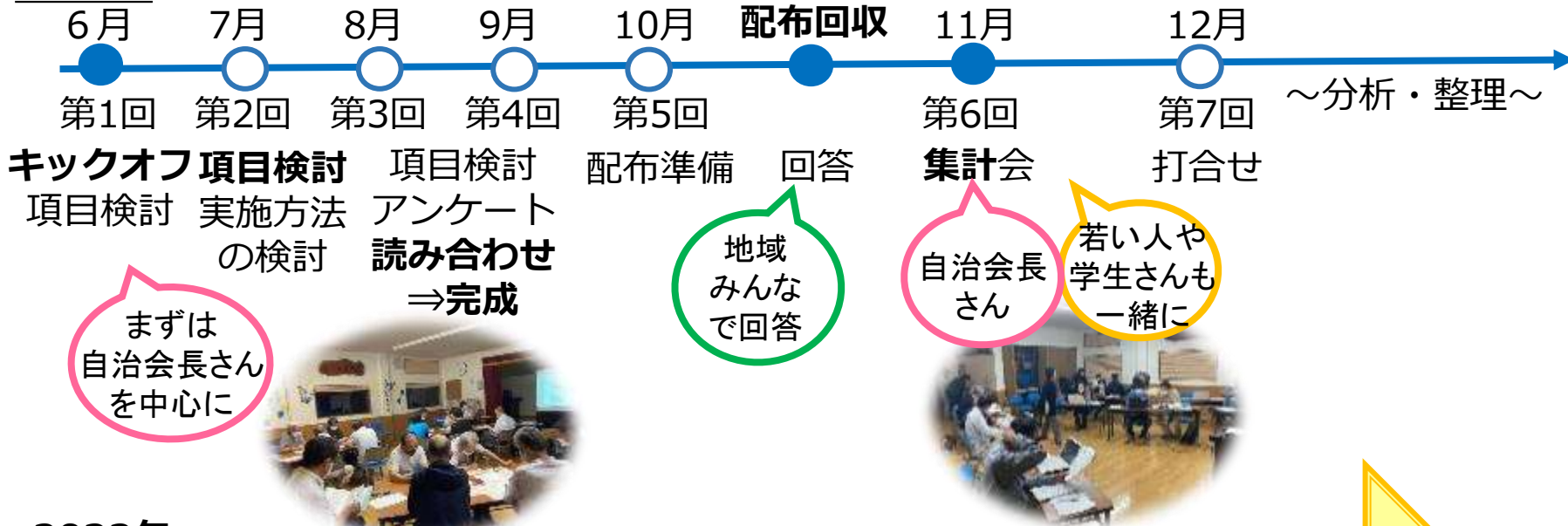
やってみん会  
打穴の  
取り組み  
  
みんなの  
地域づくりに  
向けて

R3.4.1現在

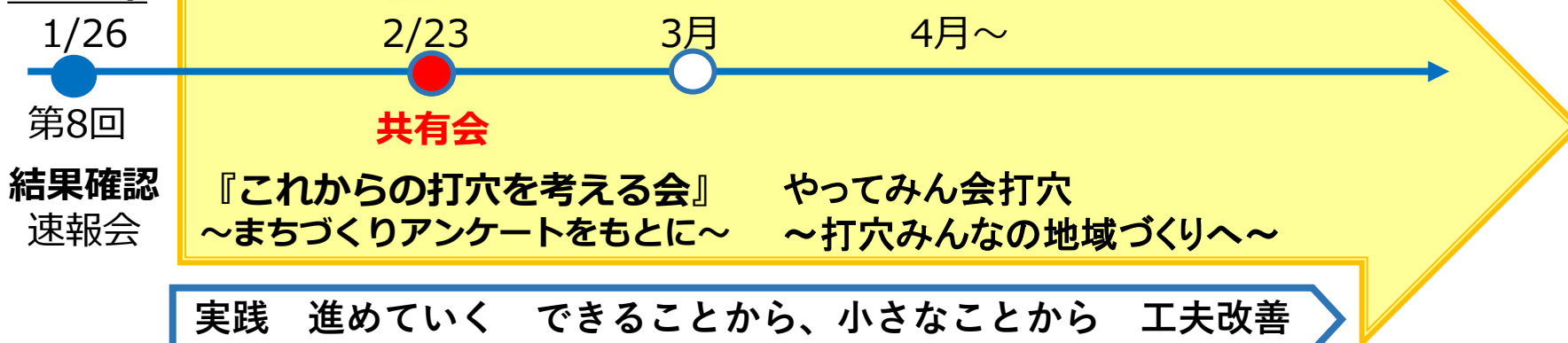
	まちづくり協議会名	自治会数	地区面積 (km <sup>2</sup> )	世帯数 (世帯)	人口 (人)	高齢化率 (%)
中央地域 (旧中央町)	加美まちづくり協議会	9	30.3	1,248	2,948	36.53%
	三保協議会	5	8.6	791	1,941	34.21%
	打穴協働のまちづくり協議会	4	14.6	327	711	46.98%
	大井和協働のまちづくり協議会	6	18.6	227	443	58.01%
旭地域 (旧旭町)	後文西まちづくり協議会	5	36.7	325	737	51.29%
	西川地区協働のまちづくり推進協議会	4	15.7	255	606	44.72%
	井和地区協働のまちづくり推進協議会	5	20.1	266	576	55.38%
	江与味自治会	1	10.5	155	378	48.15%
桐原地域 (旧桐原町)	北和気コミュニティ推進協議会	9	17.1	450	1,108	35.65%
	南和気コミュニティ協議会	11	12.6	286	650	38.46%
	吉岡コミュニティ推進協議会	9	26.5	533	1,176	44.05%
	桐原本庁地区活性化協議会	9	15.8	651	1,353	44.79%
	飯岡地区コミュニティ推進協議会	4	5.0	318	717	42.54%

# ◆打穴地区 ～アンケートづくりから共有会へ～

2021年

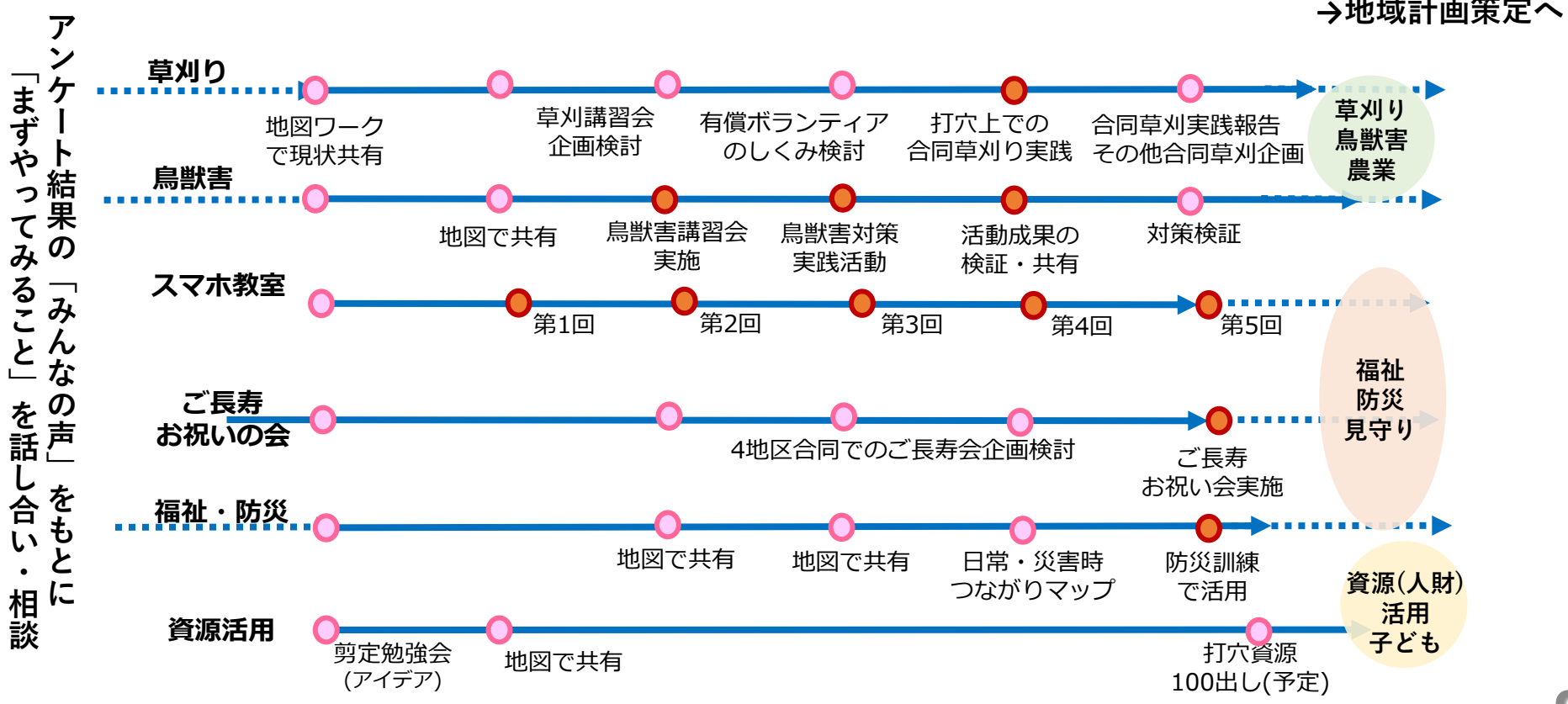
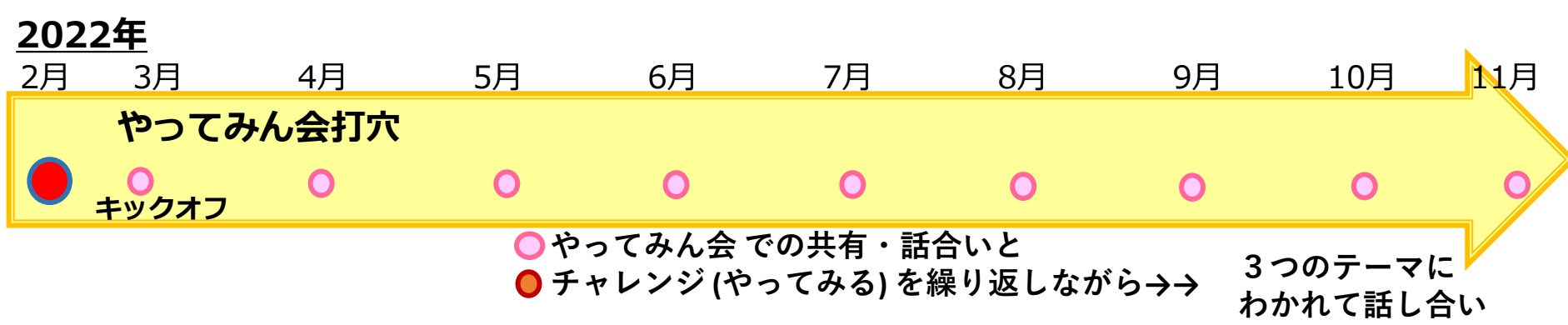


2022年

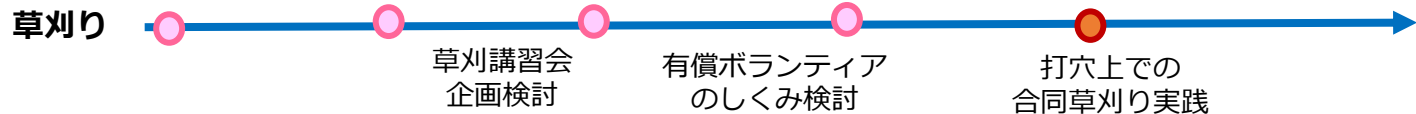




# ◆やってみん会打穴 ～みんなの地域づくりに向けて～



# ◆ やってみん会打穴：草刈り



草刈り活動の協力や有償ボランティア  
などの検討に向けて



- 刈払い機講習会(1月)に各地区2名  
が参加予定
- 打穴上地区での合同草刈り実践



地図の共有  
で大変さが  
見える化

協力して  
やってみよう  
(刈ってみよう)

# ◆やってみん会打穴：鳥獣害対策



- ①被害に合っている農作物: 米 野菜 果実
- ②動物の種類: ●イノシシ ●ヌートリア ●鳥 (カラス・スズメ) ●その他 (モグラ・マムシなど)
- ③被害・時期の内容を付箋に記入
- ④ (わかる範囲で) 防護柵

この内容をもとに井上先生へ共有して、打穴版鳥獣害講習会へ。

地図の現状  
把握が勉強  
会の材料に

### 談話室

田舎の町や村に地味に「防護柵」がからかるとなる。今後は「上」の対策も必要か。

「防護柵」は、鳥獣害対策の第一歩。しかし、鳥獣害対策は、単に防護柵を設置するだけでは、十分な効果が期待できない。鳥獣害対策は、防護柵の設置だけでなく、鳥獣害の発生原因を調査し、その原因に応じた対策を講じる必要がある。鳥獣害対策は、防護柵の設置だけでなく、鳥獣害の発生原因を調査し、その原因に応じた対策を講じる必要がある。

鳥獣害対策は、防護柵の設置だけでなく、鳥獣害の発生原因を調査し、その原因に応じた対策を講じる必要がある。鳥獣害対策は、防護柵の設置だけでなく、鳥獣害の発生原因を調査し、その原因に応じた対策を講じる必要がある。



# ◆やってみん会打穴：スマホ教室



- 第1回:5月6日(金)「はじめてのスマホ」
- 第2回:6月3日(金)「アプリとメール」
- 第3回:7月1日(金)「ネットとニュースの使い方」
- 第4回:9月2日(金)「いろいろなアプリの紹介」
- 第5回:10月7日(金)「地図アプリの使い方」
- 第6回:11月4日「ラインの使い方」



まずは  
できることから  
やってみる

# ◆やってみん会打穴：4地区合同長寿お祝いの会

ご長寿  
お祝いの会

4地区合同でのご長寿会企画検討

ご長寿  
お祝い会実施

9月18日(日)10時～11時半



- ～つながりささえあえる打穴づくりを目指して～
- ・地区を超えての久々の交流
  - ・打穴の良さが出ている。
  - ・ご長寿さんみんな楽しんでくれた
  - ・地区全体できてよかった。
  - ・またしてほしい！の声

コロナ禍でも  
工夫  
しながら

4地区合同  
で取り組む  
きっかけに

# ◆やってみん会打穴：福祉・防災

福祉・防災

地図で共有

地図で共有

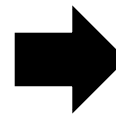
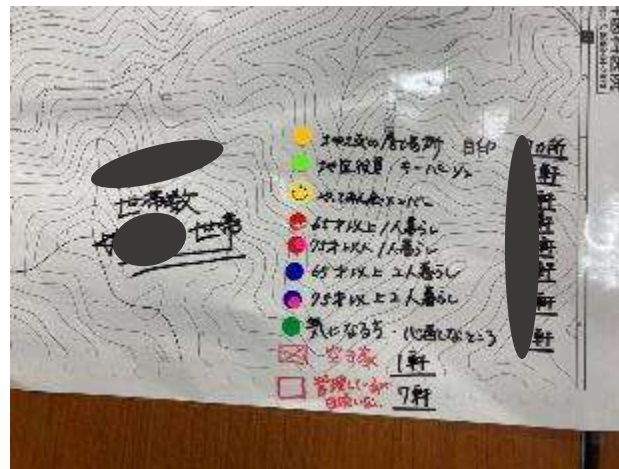
日常・災害時  
つながりマップ

防災訓練  
で活用

## いざという時に心配な人・キーパーソンの洗い出しなど



## 過去の災害にあった場所・各4地区の取り組み共有



9月の  
防災訓練で  
活用！

個別避難  
計画の  
きっかけにも

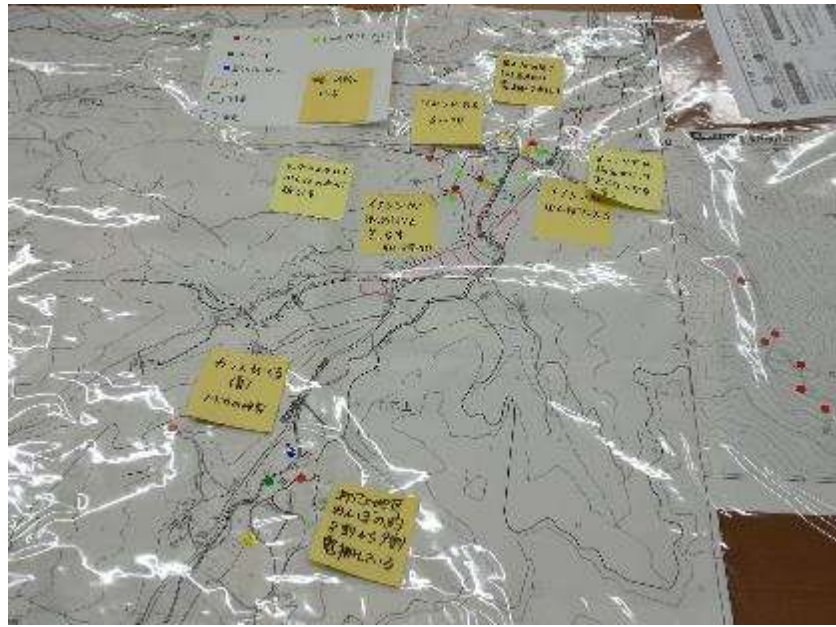
# ◆ やってみん会打穴：資源活用

資源活用

剪定勉強会  
(アイデア)

地図で共有

打穴資源  
100出し(予定)



7. 子どもや地域外の人へ伝えたい打穴の宝・資源

●のシールで貼ってみましょう！

たとえば

- ・子どもたちに知ってほしい(まちあるきとか)
- ・地域の外に人が来たなら教えたい！  
(高校生、大学生、ミャンマーの方など)
- ・SNSで発信できそう(映えスポット！)

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- ・
- ・



次回  
打穴資源  
100出し！

## 中山間地域の保全のための農村型地域運営組織（農村RMO）のイメージ

複数の集落による集落協定や農業法人など農業者を母体とした組織と、自治会、社会福祉協議会など多様な地域の関係者とが連携して協議会を設立し、農村RMOの活動の基礎となる農用地等の保全、地域資源の活用、農山漁村の生活支援に係る将来ビジョンを策定し、これに基づき各事業を実施。

### 農村RMO※

#### 協議機能 協議会（総会）

（小学校区程度のエリア）

集落協定  
集落営農  
農業法人  
など



自治会・町内会  
婦人会・PTA  
社会福祉協議会  
など

地域の存続に向けて普段から組織的に活動を行っている農業者を母体とした組織を形成

事務局

総務部

生活部

交流部

産業部

資源部

地域の将来ビジョン

#### 実行機能

#### 事業の実施

資源管理

生産補完  
農業振興

生活扶助

農用地の保全



地域ぐるみの農地の保全・活用

地域資源の活用



直売所を核とした域内経済循環

生活支援



集荷作業と併せた買い物支援

「農村空間を管理」し、農産物供給、景観、レクリエーション等「地域資源」を活用、さらに交流や居住等「生活」の空間として活用。

多面的機能支払の対象集落

A 集落協定

B 集落協定

C 集落

D 集落協定

E 集落協定

F 集落営農

G 農業法人

H 農業法人

中山間地域等直接支払の対象集落

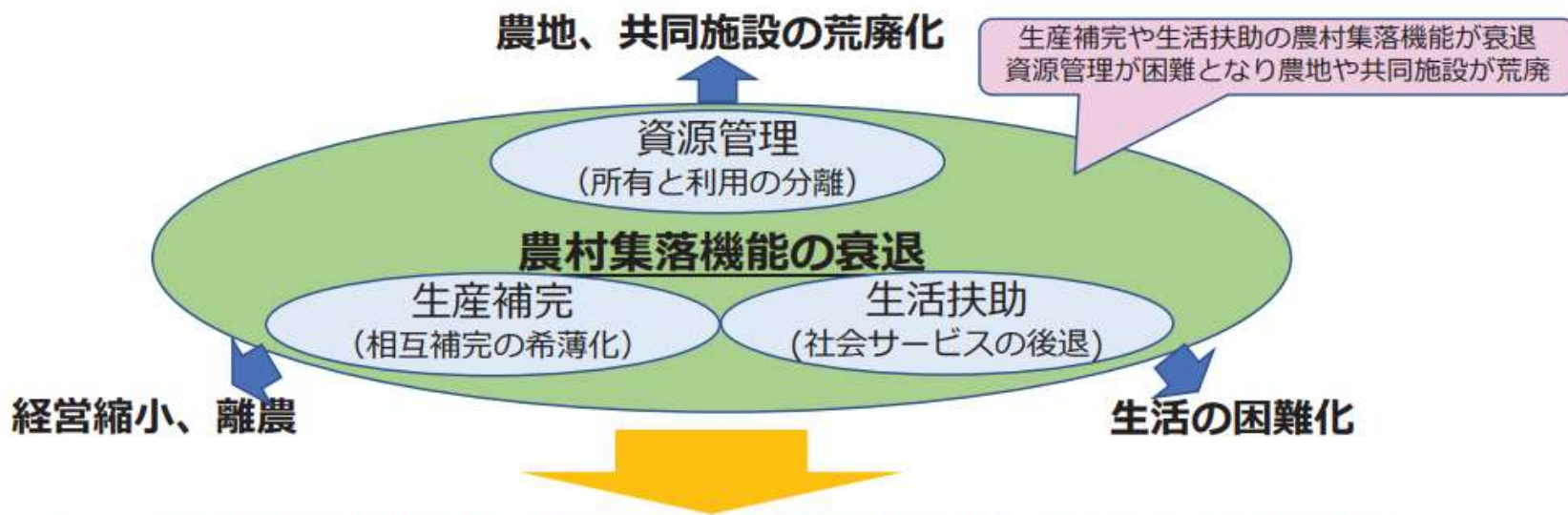
### 中山間地域等直接支払、多面的機能支払による共同活動、組織的活動の下地

※ 地域運営組織が展開する活動は多種多様であり、法人格を持たない任意団体（自治会・町内会、自治会等の連合組織など）をはじめ、NPO法人、認可地縁団体、一般社団法人、株式会社、合同会社など多様な法人制度を活用。



## 農村地域での集落機能の低下と地域運営組織の必要性

- 中山間地域では、高齢化・人口減少の進行により、農業生産活動のみならず、**地域資源（農地・水路等）の保全や生活（買い物・子育て）など集落維持に必要な機能が弱体化**。
- 農家、非農家が一体となり、生産、生活扶助、資源管理に取り組むことで、地域コミュニティの機能を維持・強化することが必要。



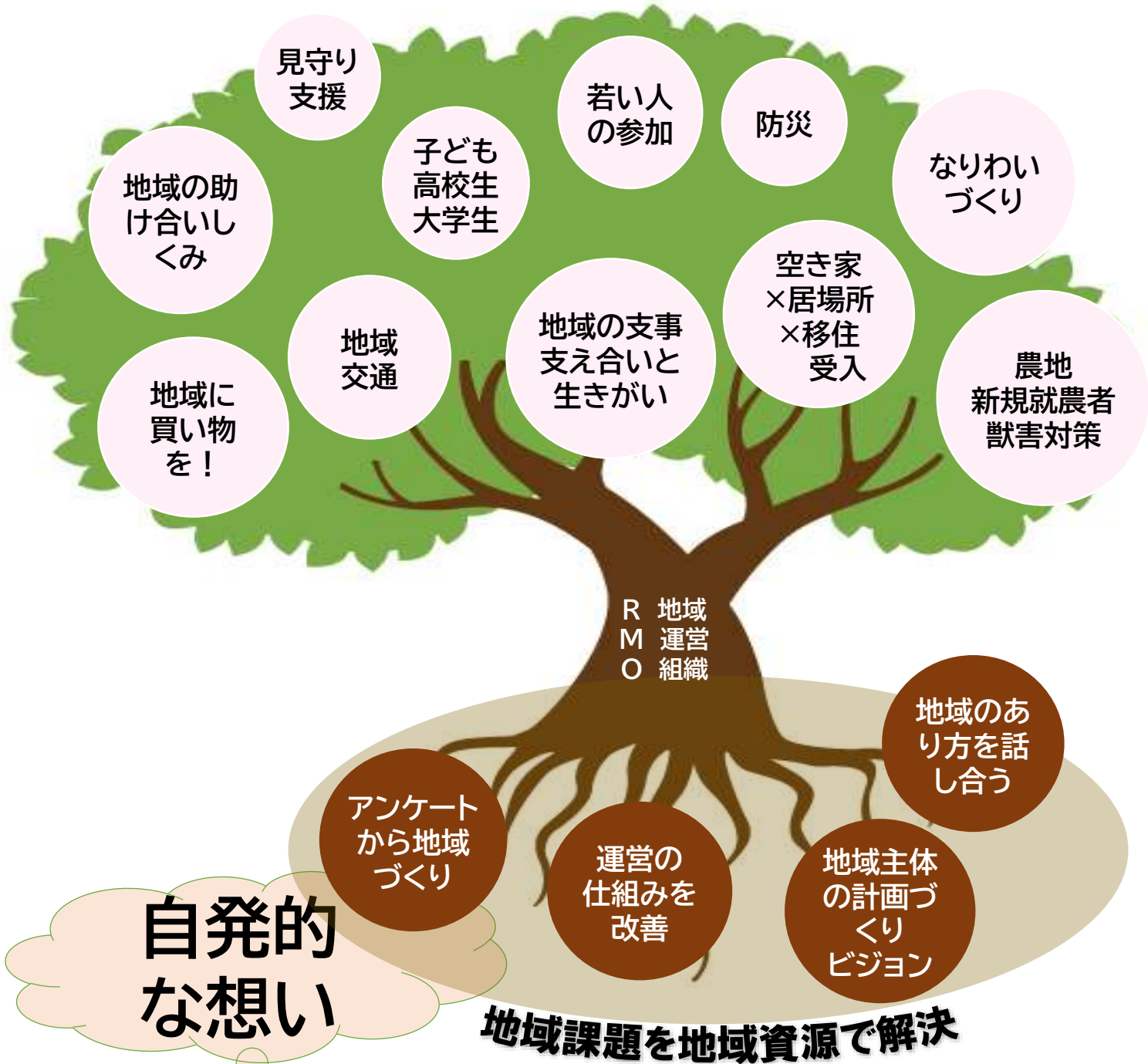
### 3つの集落機能を補完する地域運営組織（RMO）が必要

**地域運営組織**とは、地域の生活や暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取り組みを持続的に実践する組織。

**RMO:** Region Management Organizationの略

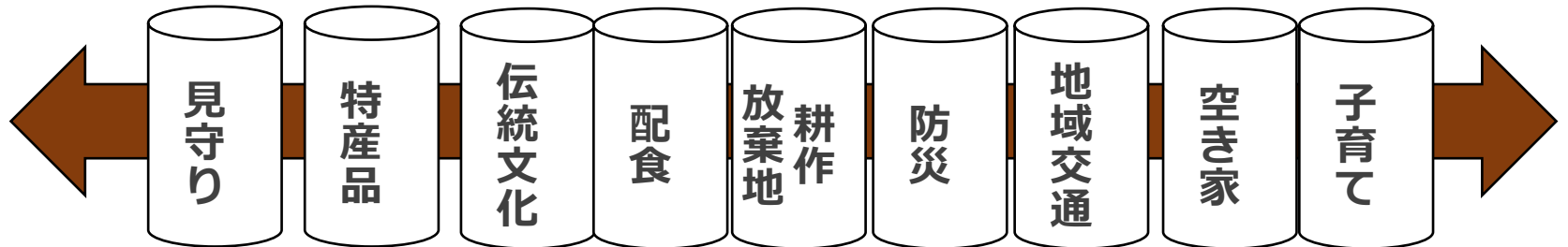
(例) ○○まちづくり協議会、○○地域づくり協議会、○○地域協議会、○○地域運営協議会 等

# 地域の一體的な取組み を支える



# これからの地域に必要なこと

分野を横断した複合的な組織、人材、拠点のしくみ



## 集落での話合いのコツ 5カ条

### 地域の抱える様々な課題について話合い、 計画へつなげるためのコツ

#### 其の一 何のために集まっているかを常に確認

何のために集まっているのか分からないと時間ももったいないよう  
話合いの目的を確認して気持ちを一つに



4頁へ▶

#### 其の二 みんなが楽しい雰囲気

緊張していると意見も出にくいよね  
活発な意見は明るい雰囲気作りから



5頁へ▶

#### 其の三 色んな人の色んな意見を認める

集まる人は十人十色  
たくさん声から気付かなかった意外な発見も

6頁へ▶

#### 其の四 自分事になれるように

他人事ではなく、これは自分たちの話。  
自分事として話し合える工夫は、具体化・見える化



7頁へ▶

#### 其の五 まず小さなお試しから始める

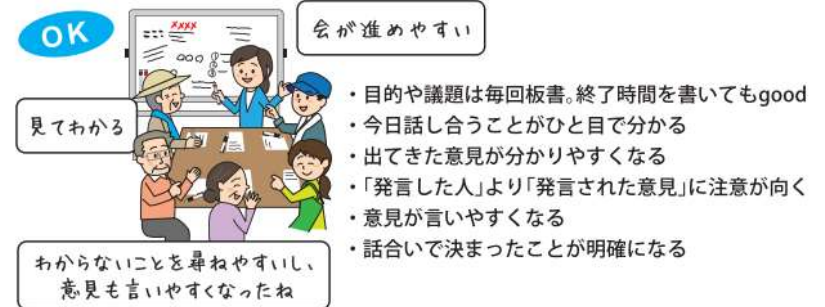
「話し合いばあ もう飽きた」という声が聞かれたらチャンス！  
たくさん意見が集まったら気軽に始められることからやってみよう



8頁へ▶

## 其の一 何のために集まっているかを常に確認

### 黒板などで板書がポイント！「報告と感想」から「話合い」に



### 話合いの様子は来れなかった方への共有も大事！

- 活動目的の紹介
- 地域で話し合った内容や決まったこと
- 今後のスケジュール など

情報共有することで話合いに参加できなかった人にも  
理解し興味をもってもらうきっかけにもなります。



回覧板や地域新聞、口コミやSNSなどを活用して地域のみなさんに取組み  
を伝える工夫をしてみましょう！

## 其二 みんなが楽しい雰囲気作り

### はじめが肝心！ まず楽しい雰囲気づくりを

話合いに参加される方の中には、不安や緊張を感じる人もいます。  
雰囲気を和らげコミュニケーションを取りやすくしましょう！  
その後の話合いも円滑に進みます。



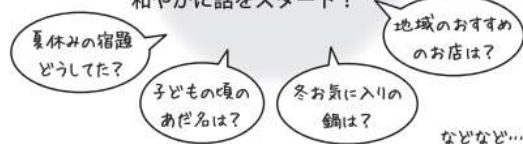
### 自己紹介の工夫

今更、自己紹介もなかるお

話合いに参加する人みんなが  
よく知り合った人達ですか？  
参加者の中に遠慮している人は  
いませんか？

たまには楽しく自己紹介を  
してはどうでしょう

名前・所属だけでなく、  
みんなが楽しく答えられるお題で  
和やかに話をスタート！



### 意見を聞く時も楽しく

#### ○ 意見をもらう順番も楽しく♪

「一番最近生まれた人から～」  
「一番薄着の人から～」など

#### ○ 道具の工夫で明るく意見交換

声の小さい人や進んで意見を言えない人も  
はたあげゲームなどを取り入れることで  
意思表示ができ、楽しい雰囲気でお話  
合いに入ることができます。

今困っていることは？

1	草刈り・水路そうじなど
2	鳥獣被害
3	周辺農地の荒廃
4	担い手問題
5	その他

例えばこんな質問で  
はたあげ



質問の選択肢から  
色紙を一齐に上げる  
ことで全体の意向が  
分かる

## 其三 色んな人の色んな意見を認める

### 多様な意見を認める場であることを確認し合おう

#### ◆ 話合いのルール

1. 人の話にしっかり耳を傾けましょう。
2. 聞いているだけでなく、  
ひとつは必ず自分の意見を言いましょう。
3. 人の批判や、せめることはやめましょう。
4. お題に沿って話をすすみましょう。
5. 肩書きや社会的地位に関係なく、  
平等に人それぞれの意見を尊重しましょう。

話合いのルールを  
毎回確認し合うことで、  
みんな安心して  
話合いに参加できる！

### 多くの人の見方を共有することで全体が正しく判断できる



### 一人では思いつかない解決策やアイデアも出てくる



## 其の四 自分事になれるように

### 他人事から自分事へ！ 前向きな話合いの工夫を

#### 工夫①：自分たちの言葉で！

- ・抽象的な言葉で難しく話すのではなく、自分の言葉で自分の集落のことを気兼ねなく話すことが大切です。
- ・自分の集落の地名や場所など分かりやすい言葉で確認し合いながら話合いを進めてみましょう。

NG

抽象的で難しい言葉

「広域化」「高齢化」  
「国の施策が……」  
「コンセンサス」  
いつまでたっても  
ことが進まない……



OK

具体的ですぐわかる言葉

「〇〇地区全体で……」  
「△△集落で耕作しているのは70代がほとんど」  
「ここここのことをまずは把握」  
⇒自分たちのことの話合いが始まる



#### 工夫②：見える化！

- ・具体的な場所や耕作者の話になると、分かる人しかその話に参加できない場合があります。それを防ぐには「見える化」です。
- ・特に地図の活用は効果的です。それぞれが知っていることを地図に落とし込んでいくことで、その範囲の全ての情報が一目で分かります。
- ・一人一人が分かる情報を書き込んでいく作業ですので、楽しく作業しながら自然と話合いも活発になります。
- ・現地を見に行き話すこともおすすめです。



「誰か」の「部分」が集まって  
「範囲全体の情報」が一目瞭然！



具体的な方法は9～14頁を参考に ▶▶

## 其の五 まず小さなお試しから始めてみる

### 話合い疲れは「これが何になるん？」という思いから

話合いを重ねていると「話合いのための話合い」のように感じる場合があります。本当はこれからの自分たちの地域のための話合いなのに…。そんな時は、これまでの話合いで出た意見から、まずは気軽に始められることを「小さなお試し」としてやってみましょう！

#### 話合いから取り組みにつながった例



「あのため池の北側どうなってる？」という事から、みんなで集落歩きをして危険箇所マップを作ることに



「若い人も草刈り覚えたいけど家では教わりたくないみたいよ」という話から、「中高生～若い人対象の体験的な草刈り講習会」をしてみることに！



「人が歩くとその匂いでサルが暫く来んようになるらしいで」から、三世交代のピクニックをしてみた



防災の話合いから、いつもの集落の忘年会を、避難を想定して話しあう「防」年会にしてみた

小さな会話の  
キャッチボールから  
色々なアイデアが生まれ、  
人と人とのつながりが広がり  
次に繋がります。

## 1. 話し合う範囲を決めよう



## 2. 話し合う仲間を決めよう

話し合う範囲と仲間を決めることで、話し合いの場が決まります。参加者が集まりやすい曜日や時間帯、会場を決めて案内しましょう。

## 3. 話し合いに向けた

### 準備をしよう



#### ◆ 集落の地図

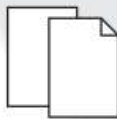
話し合う範囲を行政に伝え地図を準備してもらいましょう。

#### ◆ 地図に。描いていく道具

次ページ※参照

#### ◆ 用紙や付箋

話し合いで出た意見を書き留めたり、それぞれの意見を地図に貼ったりします。



A3・A4  
用紙



付せん  
(4色)

### ● 地図について

地図は作業しやすい縮尺の地積図や水路の位置が分かりやすいものを用意しましょう。

行政の協力を得ながら準備しましょう。



## 地図ワーク① 現状把握

現状を地図に描きながらみんなで確認します

耕作地、耕作放棄地、耕作者、鳥獣被害や水路の要対策箇所 などそれぞれが分かることを地図に落とし込んでいきます。

「下調べしておくのもいいね」

「みんなの情報を合わせるとどんどん描いていけるよ」

具体的な方法は11・12頁を参考に ▶▶

一つの地図で状況が一目瞭然！



## 地図ワーク② 未来予想図

5年後10年後「どうなりそうか」「どうなっていたらいいか」未来予想図を描いていきます

担い手へ任せられる土地、守ることが難しい農地、鳥獣被害要対策箇所 など

現状地図の上に半透明の紙を置き未来の地域のシミュレーションを描きこんでいきます。

「いろんなシミュレーションパターンを何度も！」

「正解や決まりはないよ」

具体的な方法は13・14頁を参考に ▶▶



いろいろな未来を想像しながら具体的に話し合える！

### ※ 地図ワーク物品

#### ① 透明ライティングシート

地図の上に重ねて描くことで、消したり描いたり修正することができます。



#### ② 油性ペン(8色)

使用する色を確認し準備



#### ③ アンメルツ

油性マジックで描いたものに塗ると消すことができます。



#### ⑤ シール

使用する色を確認し準備



#### ④ トレーシングペーパー(薄い半透明の紙)

現状を描いた上に載せることで、比較・確認しながら未来予想図を描くことができます。

